

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成27年度～平成31年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（おしまひやま） 渡島檜山森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 渡島森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、渡島檜山森林計画区のうち、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町、今金町、せたな町に所在する約144.3千haの国有林を対象としている。</p> <p>当計画区内の森林は、トドマツ、ブナ、ミズナラ、カンバ類等が混交する天然林を主体として、一部トドマツ等の人工林で構成されている。</p> <p>本地域の大半が水源かん養保安林及び土砂流出防備保安林に指定されており、水源涵養機能の発揮が期待されるとともに、淡水域や海水域への土砂流出や、地すべり等が多い落部流域、濁川流域、駒ヶ岳山麓や宿野辺川流域は土砂流出防止機能の発揮が求められる森林であることから、主に「山地災害防止タイプ」に区分する。</p> <p>また、優れた景観を有しており自然環境の維持を図ることが求められている、小沼周辺、東大沼及び駒ヶ岳周辺（国定公園）、長万部岳登山口の二股温泉周辺の森林、雄鉾岳登山口の鉛川温泉周辺の森林及び、原生的な自然環境に恵まれておりその保存が求められている狩場山地須築川源流部森林生態系保護地域等の森林は、主に「自然維持タイプ」及び「森林空間利用タイプ」として管理経営を行う。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、森林の有する公益的機能の持続的発揮、また、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等に貢献するため、積極的に間伐を推進するとともに、針広混交林化・複層林化等を促進するため、育成複層林へ導くための施業等を推進し、健全で多様な森林の整備・保全及びその基盤となる林道等の路網の整備を進める。この場合、土砂の流出、水質汚濁の防止等に配慮し、森林生態系の保全に努めるものとする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">554 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>8,995 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>62.3 Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.4 Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>2,335,531 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	554 ha			保育面積	8,995 ha		路網整備	開設延長	62.3 Km			改良延長	0.4 Km	総事業費			2,335,531 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	554 ha																				
		保育面積	8,995 ha																				
	路網整備	開設延長	62.3 Km																				
		改良延長	0.4 Km																				
総事業費			2,335,531 千円																				
費用対効果分析	総便益（B）	13,758,495 千円																					
	総費用（C）	3,418,172 千円																					
	分析結果（B/C）	4.03																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考える。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、駒ヶ岳山麓においては、土砂流出防止機能の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業や水産業の振興に資する役割のほか、火山放出物が広く分布している地勢のため、山地災害の防止が求められており、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

施行箇所：渡島檜山森林計画区

都道府県名：北海道

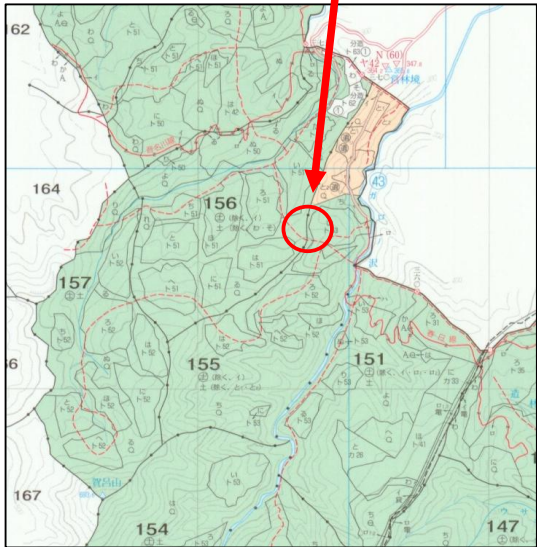
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,862,574	
	流域貯水便益	907,955	
	水質浄化便益	1,953,315	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,141,547	
環境保全便益	炭素固定便益	1,257,665	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	589,568	
	木材利用増進便益	160,881	
	木材生産確保・増進便益	687,922	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,942	
	森林管理等経費縮減便益	44,575	
	森林整備促進便益	1,150,551	
総 便 益 (B)		13,758,495	
総 費 用 (C)		3,418,172	
費用便益比	B ÷ C =		4.03

**渡島檜山森林計画区(渡島署)
森林環境保全整備事業**



林道新設



植付



下刈



間伐後

※写真はイメージとなります。